

## 結核（BCG）予防接種について

この予防接種は、予防接種法に基づき、乳幼児期に結核の免疫を得るために実施するものです。必ず、本紙をよく読んでから、委託医療機関で接種を受けてください。

### 接種時の持ち物

☆母子健康手帳 ☆予防接種予診票兼受診票 ・マイナンバーカード ・子育て支援医療費受給者証  
(資格確認書など)

### 対 象 者

生後1歳に至るまでの間にある者

標準的な接種時期は生後5か月から8か月に達するまでです。

### 病 気 の 概 要

わが国の結核患者はかなり減少しましたが、今でも毎年2万人以上の患者が発生しており、大人から子どもへ感染することもあります。特に、乳幼児は結核に対する抵抗力が弱いため、結核性髄膜炎になるなど、重い後遺症を残すこともあります。BCGは、乳幼児の重い結核の予防に明らかな効果が認められ、効果は10～15年程度持続するとされています。

### 副 反 応

#### 《通常接種部位の変化》

接種後10日頃から接種局所に赤いポツポツができ、一部に小さな“うみ”ができることがあります。この反応は、接種後4週間頃に最も強くなりますが、その後はかさぶたになり、接種後3か月頃までには治ります。これは、異常反応ではなく、BCG接種により、抵抗力（免疫）がついた証拠です。自然に治るので、包帯をしたり、バンソウコウを貼らずに、そのまま清潔を保ってください。乾いた状態のほうがなおしやすいからです。

※接種部位の反応には個人差があります。

#### 《副反応》

副反応としては、接種をした側のわきの下のリンパ節がまれに腫れることがあります。通常は様子をみてかまいませんが、腫れた部分がただれたり、大きく腫れる場合は医療機関に受診してください。

#### 《接種後10日以内に接種局所が強い発赤、腫れ、化膿した場合》

まれに、接種後早期（10日以内）に、接種した場所が赤く腫れ上がったり、針痕が化膿した状態（黄色い“うみ”が出る）になることがあります（コッホ現象）。このときには、すでに結核に感染していた可能性がありますので、精密検査をして確認が必要です。医療機関に受診と、子育て支援課に連絡をしてください。なお、接種した部位は、特に治療をしなくても、普通は2～3週間で落ち着きます。

## 注 意 点

- (1) 予防接種は健康な人が元気な時に接種を受け、その病原体の感染を予防するものです。体調の良い時に受けることが原則です。お子さんの体調をよく理解した保護者がお連れください。
- (2) 予防接種を受けることができない人
- ① 明らかに発熱（通常37.5度以上）している人
  - ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
  - ③ 予防接種等によりひどいアレルギー反応を起こしたことがある人
  - ④ 予防接種や外傷等によるケロイドが認められる人
  - ⑤ その他、医師が不適当な状態と判断した場合
- (3) 予防接種を受けるに際し、主治医とよく相談しなくてはならない人
- ① 心臓病・腎臓病・肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている人
  - ② 過去の予防接種2日以内に発熱・発疹等のアレルギーを思わせる異常がみられた人
  - ③ 過去にけいれんをおこしたことがある人
  - ④ 免疫不全があると指摘されたことがある、及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
  - ⑤ ワクチンの成分に対して、アレルギーをおこすおそれのある人
  - ⑥ 家族に結核患者がいて長期に接触があった場合など、過去に結核に感染している疑いのある人
- (4) 予防接種を受けた後の一般的注意事項
- ① 接種後30分間は、急な副反応が起こることがまれにありますので、医療機関でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐ連絡をとれるようにしておきましょう。
  - ② 接種後、4週間は副反応の出現に注意しましょう。
  - ③ 入浴は差し支えありませんが、注射部位を強くこすることはやめましょう。
  - ④ 接種部位をもんだり、こすったり、ひっかいたりしないようにしてください。
  - ⑤ 接種当日はいつもどおりの生活をしてかまいませんが、激しい活動は避けましょう。
  - ⑥ BCGを接種した日は、接種部位に直射日光が当たらないようにしてください。
  - ⑦ 接種部位の反応を観察してください。

<問い合わせ先>

子育て支援課 0774-64-1377(直通)